



2018年8月3日

各位

会社名 株式会社アウトソーシング
 代表者名 代表取締役会長兼社長 土井 春彦
 (コード番号: 2427 東証第一部)
 問合せ先 取締役副社長 鈴木 一彦
 経営管理本部管掌
 電 話 03-3286-4888 (代表)

第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2018年2月14日に公表いたしました2018年12月期第2四半期累計期間(2018年1月1日～2018年6月30日)の連結業績予想値と本日公表の同実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2018年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異 (2018年1月1日～2018年6月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	四半期利益	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A) (2018年2月14日発表)	130,000	3,700	3,200	1,700	1,100	10.78
今回実績値(B)	139,099	4,908	3,887	2,465	2,069	20.28
増減額(B-A)	9,099	1,208	687	765	969	
増減率(%)	7.0	32.6	21.5	45.0	88.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2017年12月期第2四半期)	105,811	3,474	3,075	1,740	1,390	14.51

※当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。これに伴い、前期第2四半期実績の基本的1株当たり四半期利益については、当該株式分割を考慮した金額となっております。

2. 差異が生じた理由

2018年12月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、2018年2月14日に公表いたしました予想に対して、業績が順調に進捗したため、売上収益及び各利益において、いずれも予想を大きく上回る結果となりました。

売上収益につきましては、とりわけ海外において、業績予想を大きく上回ったことが、グループ全体の業績伸長に寄与しました。従前の日系メーカー中心の取引のみならず、チリのBPO、ドイツの製造派遣、アジアのペイロール事業、さらには2018年5月にM&AしたOTTOグループによる欧州の人材流動化スキームといった幅広いアプローチにより、欧米の大手多国籍企業との取引も引き続き拡大しており、豪州・欧州の安定的な公共系アウトソーシング事業も堅調に推移しました。また、外国為替において、予想時の想定レートに比べて一部通貨が円安に推移したことにも後押しされました。

営業利益につきましては、売上収益が大きく上回ったことに加えて、国内事業セグメントにおいて、1,300名を超える新卒者等の先行費用を吸収し、かつセグメント利益率向上を伴って業績予想を上回ったことが寄与しました。

税引前利益及び四半期利益につきましても、営業利益が大きく上回ったことを主要因として、同様に予想を大きく上回りました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、株式持分が100%ではない子会社の業績も好調だったことを受け、非支配持分利益を相応に差し引かれましたが、予想を大きく上回りました。

3. 通期業績について

2018年12月期の通期連結業績予想につきましては、上記のとおり、当第2四半期累計期間の連結業績が予想を売上収益及び各利益において上回っておりますが、世界規模で政治経済の先行き不透明感が増大していることに鑑み、連結業績予想を据え置き、現時点で変更はございません。

(注) 当該予想は、現時点における入手可能な情報に基づいたものであります。従いまして、実際の業績は、業況の変更等により、当該予想値と異なる可能性があります。

以 上